



小野小学校 学校だより

第 1 号

わげんあいご  
**和顔愛語**

令和3年4月8日

## 新年度が始まりました！ よろしくお祈いします。

本日の入学式で42名の新入生を迎え、全校児童281名の体制がスタートしました。小野小学校教職員チームのメンバーは下表のとおりです。校長以下、一丸となって全精力で教育活動に当たります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援のほどをお願いいたします。

担当	氏名	備考	担当	氏名	備考
校長	田中 信仁	本校2年目	教頭	渡部 智則	本校3年目
1年1組	石橋 陽子	本校3年目	1年2組	濱田 ちなみ	長里小より
2年1組	小玉 梨乃	本校3年目	2年2組	森 祥子	上山小より
3年1組	松崎 麻由美	真津山小より	3年2組	中路 啓介	本校7年目
4年1組	吉武 裕和	新規採用	4年2組	水谷 科子	本校4年目
5年1組	安居院 親孝	本校4年目			
6年1組	塚田 躍子	本校3年目	6年2組	松下 日向子	本校2年目
たんぼぼ学級	金田 津也子	本校4年目	ひまわり学級	佐藤 英雄	本校3年目
教務・専科	宮崎 慎介	本校2年目	初任研指導	松尾 茂	湯江小より
専科・少人数	山崎 明子	本校3年目	養護	久保山さゆり	本校3年目
学校事務	松下 洋子	真城小より	A L T	ブラウニング・アン	本校2年目
特別支援教育補助員	井口 美奈子	本校3年目	用務員	古川 文美	本校2年目
心のケア相談員	内田 秩恵子	本野小より	用務員	佐藤 康三	本校4年目
図書館運営支援員	中野 章子	本校3年目	育友会事務補助	村田 洋子	本校8年目
給食配膳員	石橋 直美	本校10年目			

## 新型コロナウイルス感染症の予防策について

本日の入学式も参加人数を少なくし、時間短縮に努めました。失礼ながら、地域来賓も人数を絞ってのご案内でした。今後の学校行事も感染症の状況を踏まえて、様々な制限や工夫が必要と考えています。ご理解のほどをお願いします。

「新しい生活様式」も1年を超えましたが、今後も継続と徹底が必要な状況です。子どもたちの朝の検温、マスクの着用、手洗いの徹底、換気……。授業や給食、全校集会なども「密」を防ぐ努力を続けていきます。

子どもたちのことですから、「つい、うっかり」もありますが、もうしばらくの間は、声かけ指導をお願いします。



## 学校だよりの名称について

校長が作成している学校だよりの名称を、今年度は「和顔愛語」とさせていただきます。昨年度から掲げている学校テーマの更なる浸透を図るためです。四文字熟語の難しい漢字ですが、ほとんどの子どもがこの字を読むことができるくらいに浸透しています。小野っ子たちが、更に優しい心、豊かな心に育つように願いを込めて書いていきます。

※ 裏面もご覧ください。

和顔愛語

# 今後の見通し・行事予定について

## 4月

- 6日(火) 始業式・着任式
- 8日(木) 入学式(1年生懇談会)  
※1年生は14日まで3校時授業
- 13日(火) 町別児童会
- 14日(水) 学級懇談会(19:00~)
- 15日(木) 1年生給食開始
- 20日(火) 全学年5校時日課
- 23日(金) 歓迎集会・遠足(集団下校)
- 30日(金) 授業参観・育友会総会

## 5月

- 23日(日) 運動会(午前中開催)  
※雨天時は1週間延期
- 24日(月) 代休日
- 27日(木) 県・全国学力調査(高学年)
- 28日(金) プール掃除

※主な行事予定は、学校HPで確認できます。



### 【校長の独り言……】

始業式の話……「**変身のチャンス**」をつかむために  
「**る**」の決心を!!

4月6日、今年も年度始めの始業式では、【**変身のチャンス**】というお話をしました。人は誰でも、いつからでも変身できるということを、昨年度ずっと伝えてきました。ですから、【**変身のチャンス**】の話は、子どもたちにとって予想どおり、という感じでした。

今回は加えて、【**チャンス**】を掴んで自分を成長させるためには、固い決心が必要だということを伝えるために、短い一編の詩を紹介しました。



# 「る」

庭田忠正

こうなりたい。  
あれやりたい。  
そうしたい。

違うだろ。

最後は「**る**」だ。

左の「**る**」という詩です。この詩は、「くずかごの中の詩」という本に収録されています。作者は当時、定時制高校に通うモヒカン刈りの不良少年だった庭田忠正さん。この詩はノートの切れ端に書かれており、教室のゴミ箱の中から丸められて見つかりました。

この詩を見つけた先生が、誰か有名な詩人の作品かと思って、いろいろ調べてみました。すると、この詩は、当時問題児だった庭田さんがノートの切れ端に書いて、ゴミ箱に捨てたものだったのです。その後、彼の詩は東京都の先生たちの会議で紹介され、新聞やニュースでも取り上げられ、最終的には東京都庁の教育長室に掲げられることになりました。

「**る**」…これは彼自身の、自分に対するいら立ちを激しくぶつけた詩です。「こうなりたい」と願っても失敗し続ける自分。目標をかなえることのできない自分の弱さ。「**悪いのは周りの人じゃない! 環境じゃない! 自分の心だ!!**」 それに気づいた彼の、自分の心、自分の弱さへの怒りが「**る**」なのです。

進級してクラス替えがあり、担任が交代した今、【**変身のチャンス**】を掴むという思いを確かなものにするために、「……できるようになりたい」「……をやりたい」「……をがんばりたい」という願望ではなく、「こうなる、あれやる、そうする」など、「**る**」で強く言い切る、固い決心の目標を立てさせて自分の意志の強さを示すとともに、それから後の行動を決めさせていきたいものです。

「**る**」……これは物事に対する覚悟を決める、たった一文字のひらがなです。

※裏面もご覧ください。